

3密を避け、授業の遅れを取り戻しながら 「主体的・対話的で深い学び」へ向かう工夫

国語科

対話的な学び

3つの対話

教材との対話

他者との対話

自己との対話

対話的な学びは**3つの対話**から始まるよ。

3つの対話をどのように行うのか、実際の単元を例に紹介するよ。家庭でもできる学習には〈家〉と書いておくれ。

単元名：筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表しよう
「時計の時間と心の時間」小学6年



筆者の主張との出会い

どうして筆者は「心の時間」の事例ばかり挙げているのだろう

【教材との対話】

筆者の主張に対する自分の立場と理由を**書く**。

○×などで自分の立場を決めるだけでもいいんだ。



【他者との対話】

友の意見を**読む**。
筆談で意見交換する。

筆談って、なんだか楽しそうですね。教師が意見をプリントにまとめて考えを紹介してもいいかも。

【自己との対話】

友との交流の中で考えたこと、分かったこと、疑問に思ったことを**書く**。

自分の考えを書くことで自己と対話しているんだ。



【教材との対話】

自分の疑問をもとに、時間について書かれた関連図書を**読む**。〈家〉

関連図書や他者の考えに触れることも対話的な学びなのです。司書の先生や地域の図書館に協力していただくと本を用意できそうです。

【自己との対話】

私の考える「時計の時間と心の時間」についてポスターに**まとめる**。〈家〉

まとめることで、自分の考えを整理して再構成するんだ。



【他者との対話】

お互いのポスターを**読み**、友のポスターに自分の考えを**書いた**付箋を貼る。

付箋なら直接話さなくても考えの交流ができそうですね。

【自己との対話】

単元の学びの振り返りを**書く**。

考えの広がり・深まり

「心の時間」の大切さを伝えたかったんだな。友達のポスターと比べて、友達の「心の時間」と私の「心の時間」の違いがわかったよ。

3つの対話の中で、考えが広がったり深まったりするんだね。書いたものを交流する具体的な方法は、それぞれの学校の状況によって変わってくるよ。子供たちは、もともと自分の考えを伝え合いたいという気持ちを持っているよ。話せなくても手紙などで伝え合おうとしている子供たちの姿の中に、具体的な交流の工夫のヒントがあるのかもしれないね。



3密を避け，授業の遅れを取り戻しながら 「主体的・対話的で深い学び」へ向かう工夫

理科

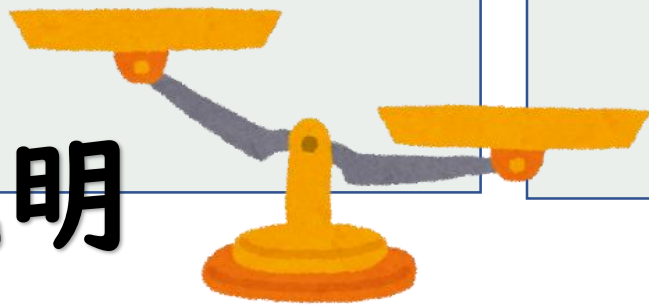
1 思い切って軽重をつけましょう！

- 小3 「磁石」磁石と物の距離によって引きつける力が変わること
 小5 「植物の結実」受粉について，昆虫などが関係していること
 中1 「光の世界」光の屈折における入射角と屈折角の定性的な関係
 中2 「電流」直列回路，並列回路における合成抵抗

- 小3：2つの事象を比較するなどして，個人で問題を見いだす場面を設けましょう
 小5：実験方法の「道具」「手順」「結果の見通し」のどれか一つでも，個人で考える場面を設けましょう
 中2：個人で考察した内容を友達と比較し，再度個人で記述する場面を設けましょう

軽

簡単に説明



問題解決の力などを育成

重

学習指導要領で「触れる(教師が簡単に説明すればよい)」内容として示されているものを確認し，授業では時間をかけず簡潔に説明しましょう。その分，「問題を見いだす力」「解決方法を立案する力」「分析・解釈する力」など，子どもが，理科における思考力,判断力,表現力等である**問題解決の力【小】**，**科学的に探究する力【中】**を発揮する場面を，回数を限って単元の中に位置付けましょう。



2 知識を関連付けて学べるように！

2年「大気の動き(天気の変化)」学習カード

氏名

学習問題：地球規模での大気の動きにはどのような特徴があるのか？

1 大気の動き (P210, 211)

赤道や極付近：温められた空気が① 気流となり，上空へ。上空では極方向へ①の気流が起きると空気が薄くなるため，そこに極方向から空気流入。地球規模の大気の循環は② のエネルギーの影響が大きい。

(中略)

活用問題：日本では，天気が西から東へ移り変わることが多い。これは，他の国でも同じなのか。理由も含めて自分の考えを説明してみよう

例) **学習問題**を設定し，終末には，その答えを自分の言葉で書けるようにしましょう。

例) 学んだ知識を関連付けて**活用する場面や問題**を用意しましょう。



授業の遅れを取り戻すには，観察，実験の少ない単元において，左上のような学習カードを作成し，教科書等で子ども自身が調べたことをもとに穴埋めなどでまとめる場面も想定されるね。ここでも，バラバラではなく**体系化され生きて働く知識**の習得につながるよう，学習問題を設定しましょう。その上で，穴埋めの最後に自分の言葉で考えたことを説明したり，得た知識を活用したりする場面を設け，**子ども自身が知識を関連付けられる**ようにしましょう。

離れていても つながる



A中学校から依頼を受け、Zoomを使い、今後の取組について懇談をしました！

A中学校 外国語科の先生方と懇談

内 コロナによる分散登校中における授業の
容 あり方について(4月下旬に懇談しました)

Q. 休校で授業のスタートが遅れていますが、新教材「Bridge」はどのように扱っていけばよいのでしょうか。

A. 「読み物教材」としての扱いに重点を置く、授業だけでなく、家庭学習でも扱うといった方法が考えられます。

A中学校



オンライン
(Zoom)



中信教育事務所

先生方の感想

A中学校

Zoomでの懇談を通して、主事の先生方も懇談方法を模索しているのだな、私たちもこの状況下でいろいろ工夫をしてみたいな、と感じました。Zoomでの懇談が、今後、直接主事の先生にお会いした時に話題を焦点化できる良い機会になったと感じています。他教科でも活用する、教科会にWebで参加していただく等も考えたいです。

今回の懇談を通して、コロナ禍における先生方とのかかわり方について、また1つ新しい方法が見えた気がしました。画面越しではありますが、先生方の顔を見ながらお話をさせていただき、思いを交流することを通して、離れていてもつながることができることを感じ、共にこの難局を乗り越えていこうと気持ちを新たにしました。

どなたも

つながれます！

Zoom等による相談をご希望の学校は、ご連絡ください。

連絡先：中信教育事務所 学校教育課

電話 0263-40-1976 担当(清水)